

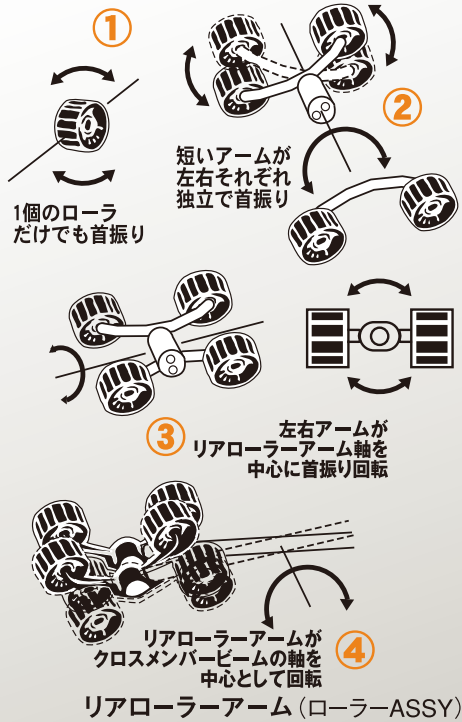
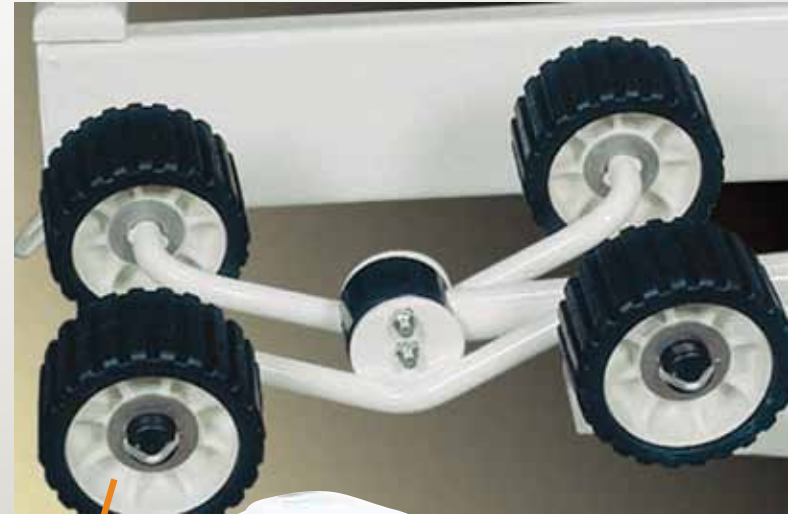
No.1 ボートトレーラは、どこがどう違うのか。

2012

ShoreLand'rボートトレーラの品質を語るには、ここにそのほんの一部を示した50以上の米国特許、そして全世界で120万台を超える販売実績は既に充分過ぎるかもしれません。しかし、日本の約40倍と言われるマリン大国・米国で1971年に登場以来No.1の座を不動のものとしてきたShoreLand'rの真価は、そのようなスペック・数字などでは到底語りつくせるものではないということを知って戴きたいのです。

EquiLoad™システム (米国特許取得済)

複数のローラーが合計4種類のモードで回転することにより複雑な形状の船底の表面にも柔軟に追従し、船体を確実にサポートします。



アドバンスキールサポート
(大型機種に採用)

二軸ブラケットの上に複数のキールローラーを装備することによりキールにかかる荷重を分散し、大事な愛艇の船底を傷めません。キールローラーはウレタンとゴムを組み合わせ、両者の長所を生かして優れた耐久性とローディング性を両立しています。(キールクレードルASSYと云います)

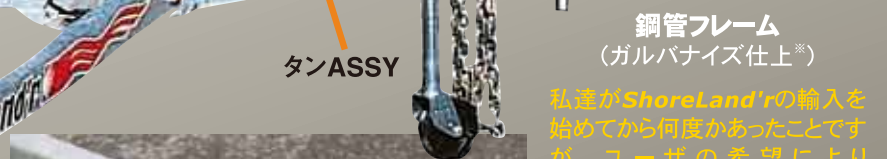
Profile2000™ウィンチ (大型機種に採用)
(ウィンチスタンドは14インチと9インチが用意されています)

ワイドなバウストップからバウアイセーフティチェーン・タンジャッキ取り付け台までを一体のハウジングに収め、調整範囲の拡大と流麗なデザインを両立させました。



ブレーキアクチュエータ A-70
(ブレーキ付き機種全車種に標準装備)

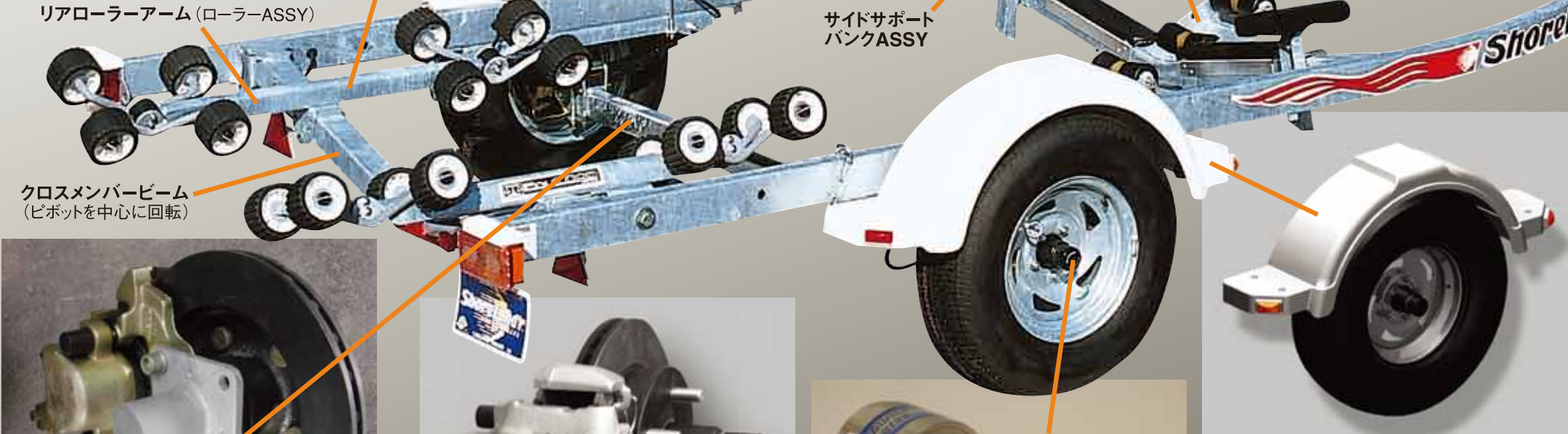
車がブレーキを掛けた時の慣性力を利用してトレーラのブレーキを作動させる、極めて重要な部品です。ShoreLand'rのブレーキアクチュエータは、全米で最も広く使われ信頼されている米UFP社の製品を採用しています。



鋼管フレーム (ガルバニイズ仕上*)
タンASSY

私達がShoreLand'rの輸入を始めてから何度かあったことですが、ユーザの希望によりShoreLand'rのフレームを鉄工所で加工する必要があった時、通常の鉄鋼用の切削工具ではどうしても加工ができず、やむを得ず特殊金属用のダイヤモンドカッター等でようやく加工することができました。一体これはどういうことかと製造元にも問い合わせたところ「トレードシークレットなので言えない」とのことでした。ShoreLand'rが他社製品と一番違うところは、案外「鉄」かもしれません。

※ガルバニイズ (溶融亜鉛めっき) 仕上フレーム
鉄の表面仕上げ法としては最も歴史が古い方法で、傷が付いたりしてめっきが部分的に破壊されたりしても自己修復作用があるため、過酷な使用環境下でも優れた耐久性を発揮します。



ドロップアクスル

ボート積載時の重心を下げるため、アクスルを車軸より一段下げた構造です。タイヤ径の比較的大きいモデルに採用しています。さらにタイヤ径の大きいモデルではV字型に湾曲したアクスルを採用しています。



ベンチレーテッドディスクブレーキ
(ブレーキ付き機種全車種に標準装備)

2枚のディスクの間に通風孔を持たせた構造により冷却性能を飛躍的に高め、驚異の耐久性・対フェード性と同時に強大なストップパワーを実現しています。乗用車の世界ではポルシェなど超高性能な車種にしか使われない構造のブレーキですが、ShoreLand'rはブレーキ付き機種全てに採用しています。



カスタムモールドフェンダー

耐久性・対候性に優れた複合材料を成型した、米国特許取得済みのフェンダーです。大型機種ではステップパッドの部分がフレームに溶接された一体構造となっており、高い堅牢性を実現しています。

プロテクターブラ
BearingBuddy™内部への水や異物等の浸入を防ぎます。

BearingBuddy™ (標準装備)

常に車軸にグリスを一定に供給し、長期間に渡ってシャフトの焼き付きを防ぐ、米国では既に業界標準となった部品です。米BearingBuddy社の登録商標です。

User's Voice



愛知県 水野久三彦さん

トレーラブルボートの魅力は、何といても愛艇を手元に置いておけること。ガレージに置いた愛艇をいじくりまわすのもまた楽しみの一つです。愛艇に合わせたフィッティングができ、低重心で走行安定性も良く積み下ろしが楽なShoreLand'rは、そんな至福のひとつには欠かせません。パーツ供給などサポートもしっかりしていて、とても気に入っています。